

令和7年度
埼玉県地域リハビリテーション
災害リハビリテーション研究会

埼玉JRATの医師メンバーとして 能登半島地震後の珠洲で経験したこと

埼玉医科大学総合医療センター
リハビリテーション科

藤本 幹雄

1

今回の私の活動1（中央対策本部長）

2/25(日)、3/2(土)

- ・ リハビリテーション医学会から派遣される専門医としての立場
- ・ 業務内容
中央対策本部の統括、重要事項の判断、対外的業務

2

今回の私の活動2（現地支援チーム）

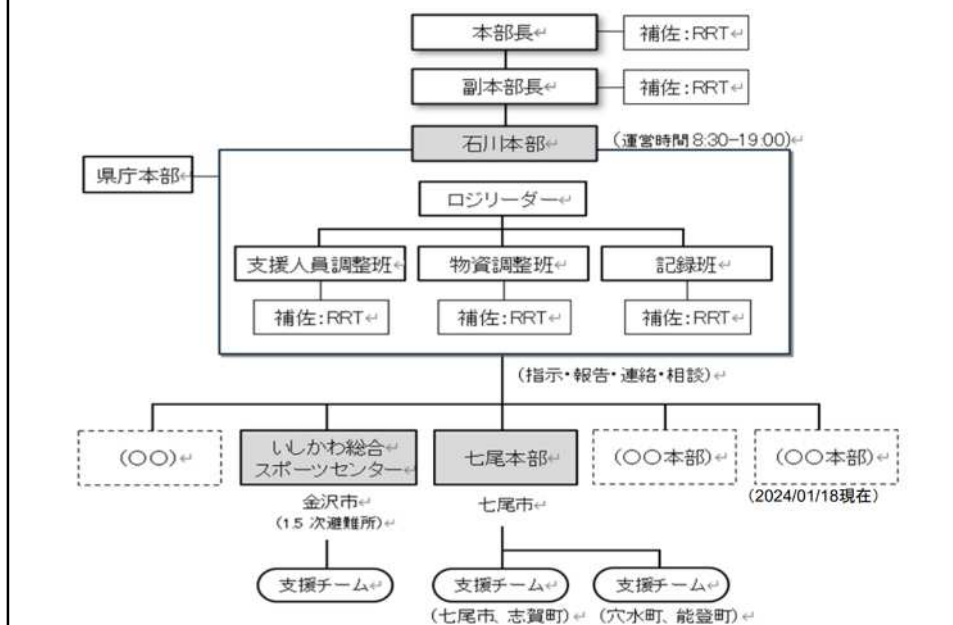
3/14(木)～3/18(月) 、3/28(木)～4/1(月)

- ・ 埼玉JRATとしての活動
- ・ 埼玉県医師会分科会としてのリハビリテーション医会を通じて依頼

今回は珠洲市で行った現地支援で経験したことを報告

3

石川JRAT令和6年能登半島地震支援組織図



4

チームの内訳

3/14(木)～3/18(月)

医師1 (埼玉医科大学総合医療センター)
理学療法士1 (共済病院)
作業療法士1 看護師1 (霞ヶ関南病院)

3/28(木)～4/1(月)

医師1 (埼玉医科大学総合医療センター)
理学療法士2 看護師1 (霞ヶ関南病院)

5

活動の概要

3/14(木) 移動、石川本部でオリエンテーション、WEB会議

3/15(金)～3/17(日) 珠洲市での現地活動

3/18(月) 移動

3/28(木) 移動、石川本部でオリエンテーション、WEB会議

3/29(金)～3/31(日) 珠洲市での現地活動、WEB会議

4/1(月) 移動

6



7



8



9



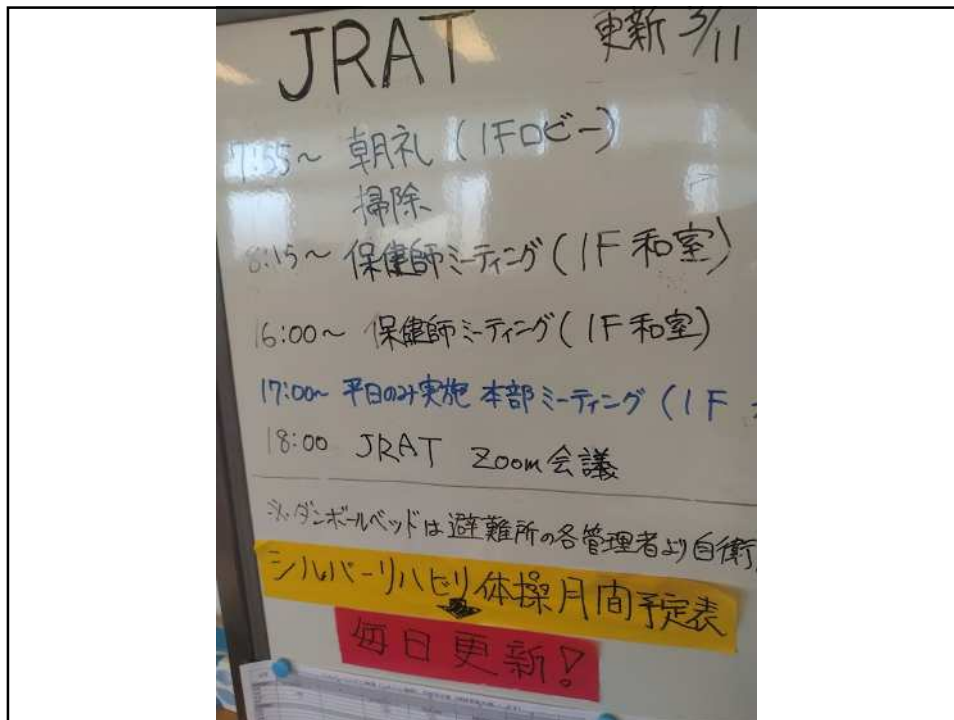
10



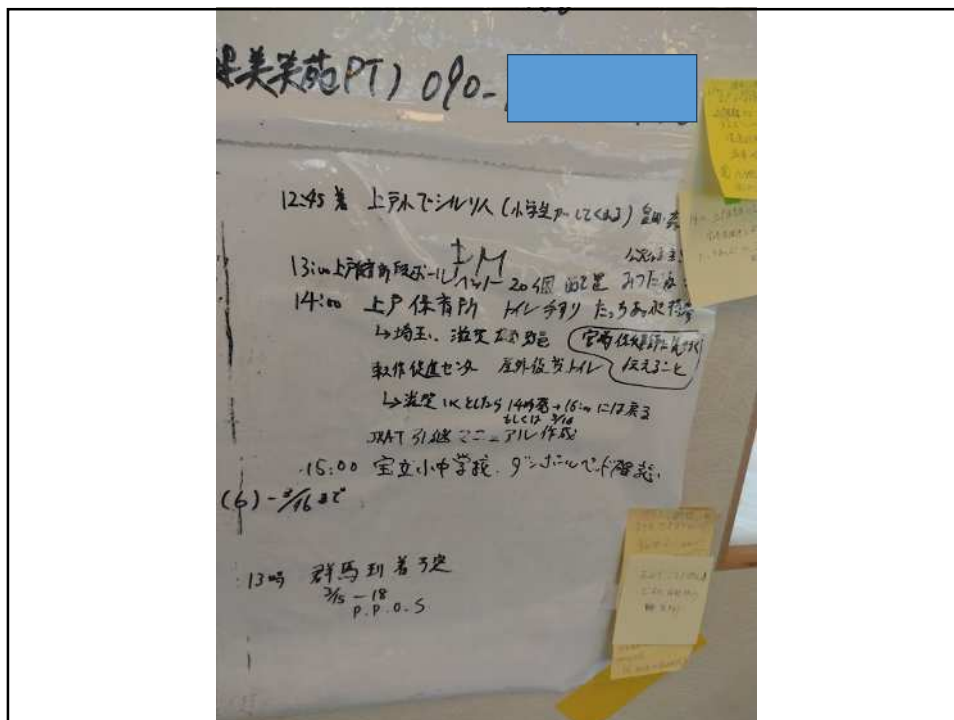
11



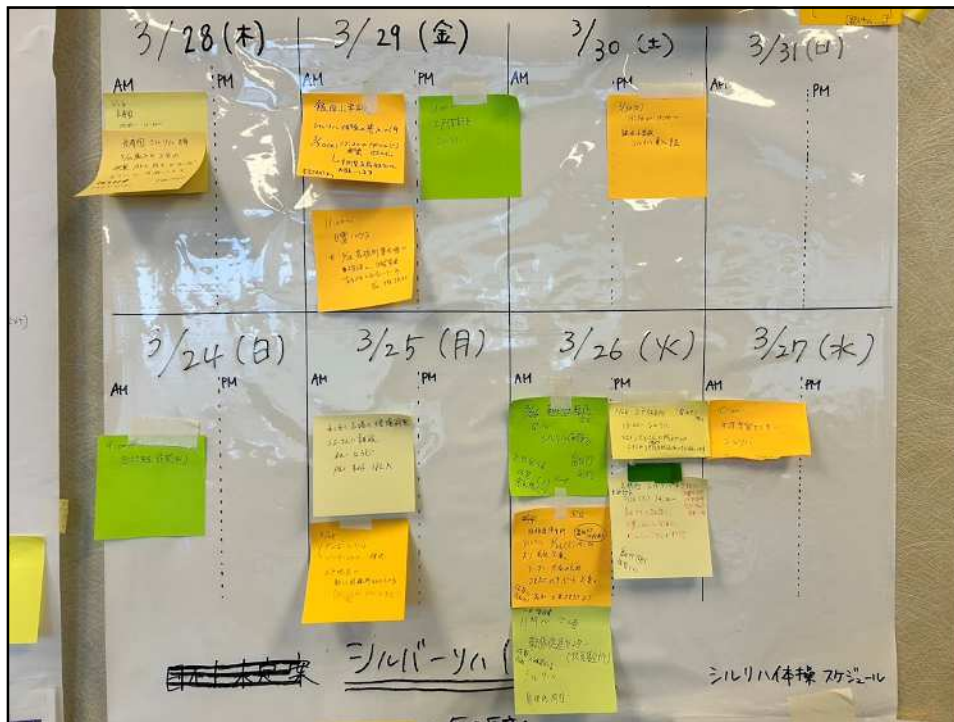
12



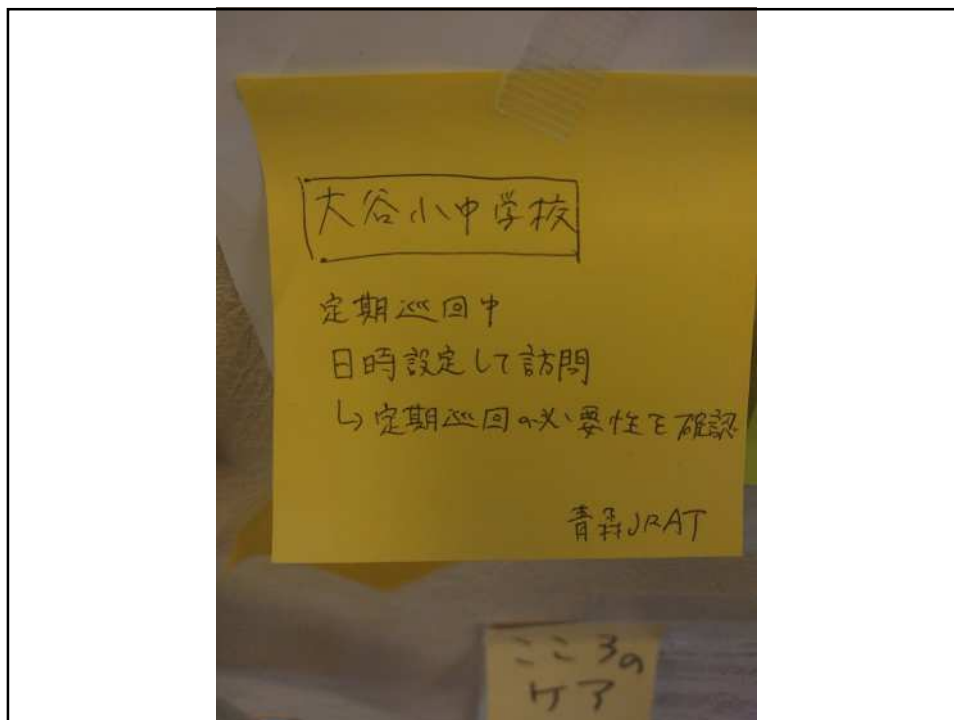
13



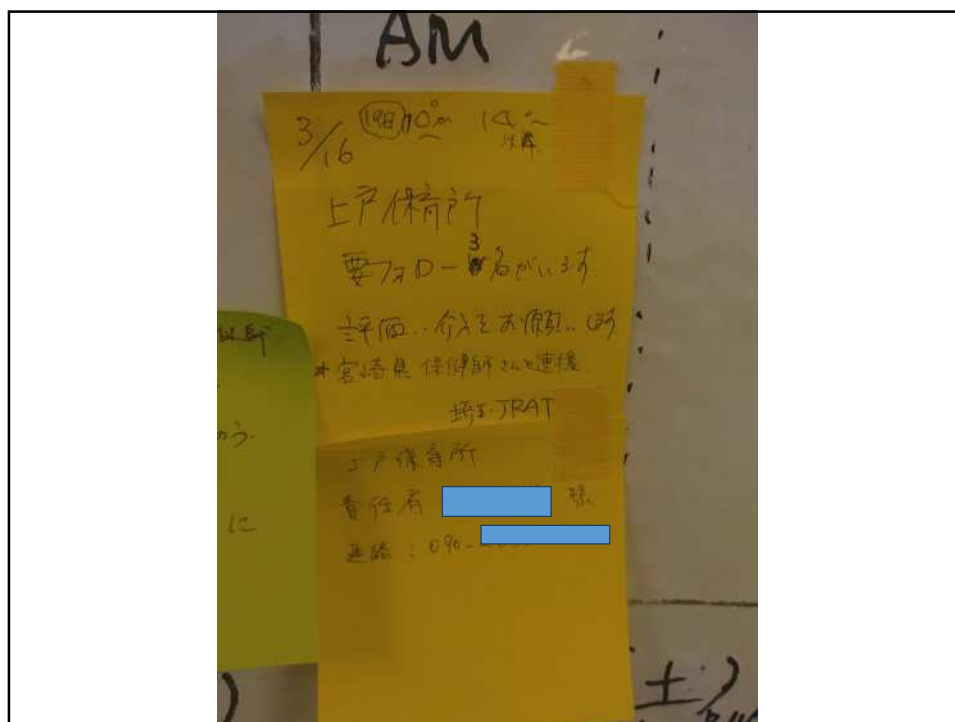
14



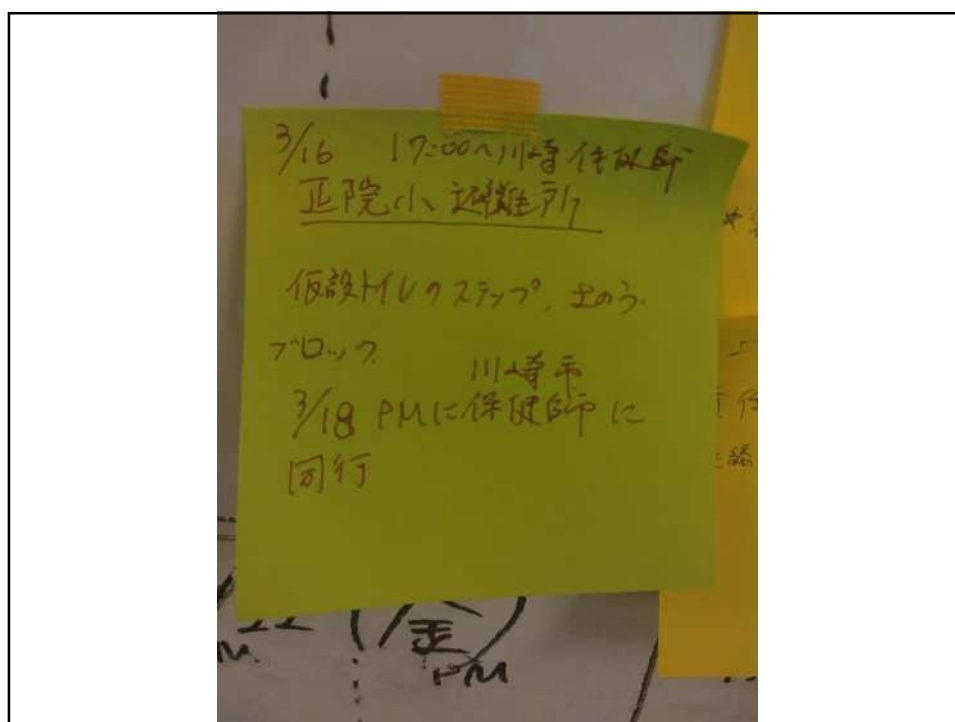
15



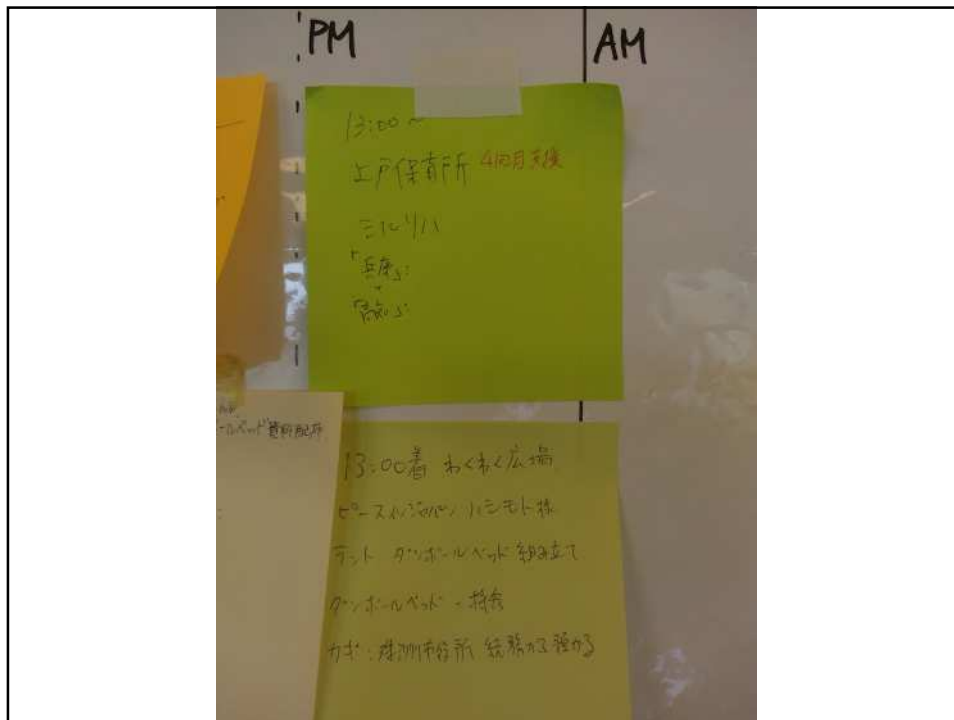
16



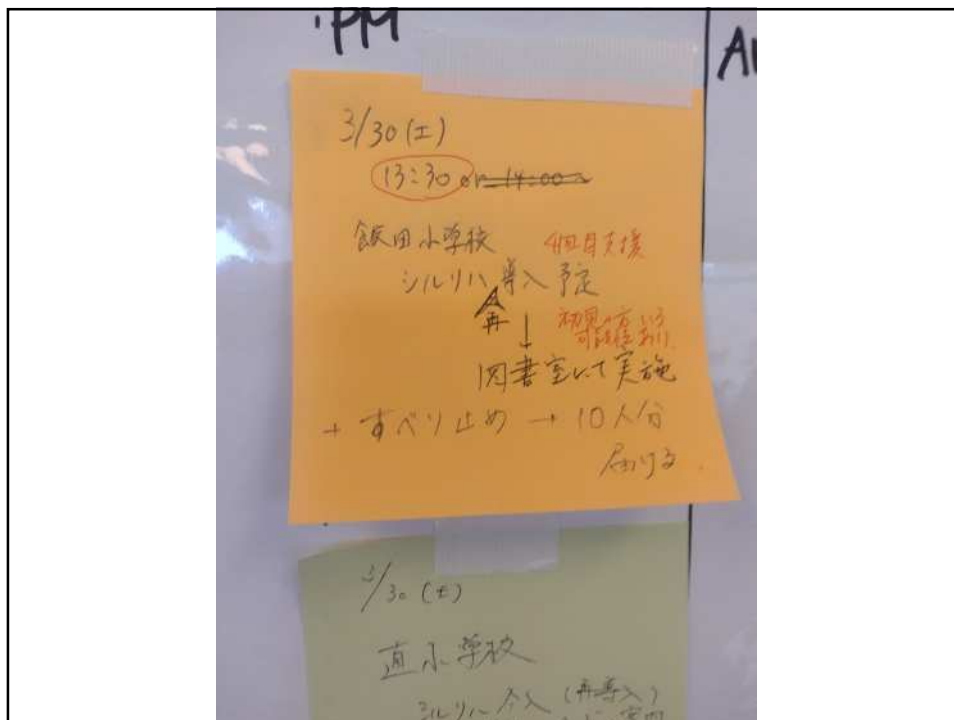
17



18



19



20

行った活動1

- ・ 支援チームの医師として、要介入・要フォロー者に関する管理・指示

過去の受援者基本表（カルテみたいなもの）を振り返りながら新たな指示だし（数十名を見返して、数名の指示を追加）

新規の受援者に関する指示4名（避難所で確認後に受援者基本表に要フォローとして指示）

21

行った活動2

- ・ 環境調整：避難所の統合に伴い入ってくる車いす・シルバーカー・歩行不安定者の部屋割りやトイレの導線の決定、適切な段ボールベッドの選定や手すり等の環境設定、バリアフリー化

結果的に3名の受援者だけでなく、他の避難者の床材の整備や段ボールベッド・パーティションの設置なども行った

22

行った活動3

- ・ 環境調整：仮設住宅に入居予定のシルバーカー使用者と車いす使用者について、環境調整の助言（後述）

23

行った活動4

- ・ 廃用予防のための集団体操の避難者への指導

4か所の避難所を訪問

24

行った活動5

- ・ 段ボールベッドの保守交換、安全な使用のための巡回活動

8か所の避難所を訪問

別の新規の避難・宿泊施設では段ボールベッドの展開作業（これはリハというより、労働力が足りなかったため協力）

25

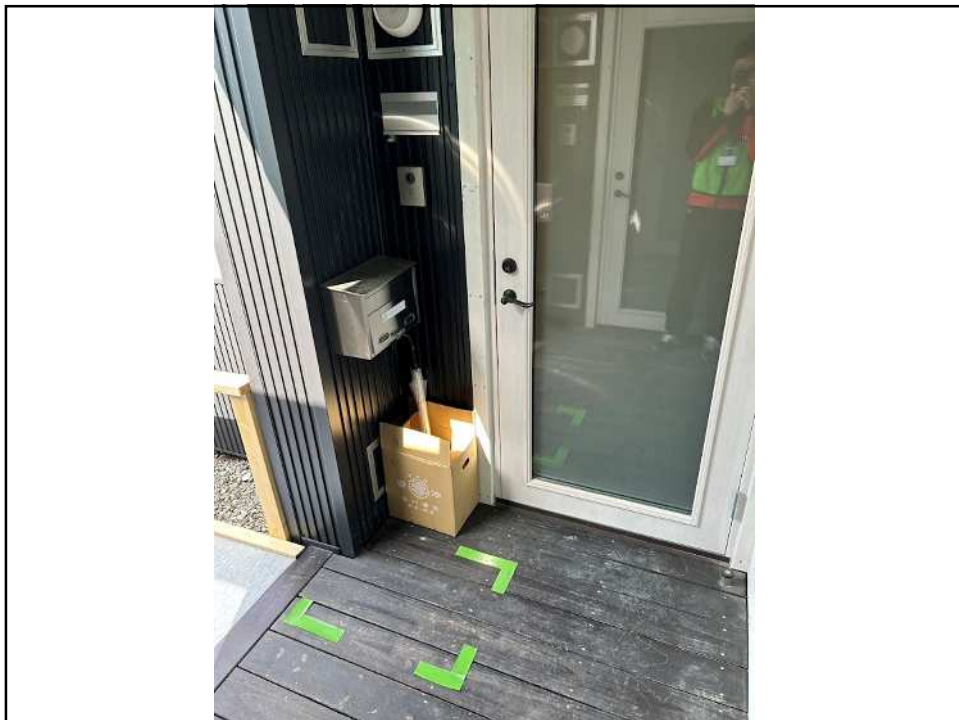
行った活動6

- ・ 珠洲市における最終チームとして、災害リハビリテーションをJRATから地域に引き継ぐための情報の整理と提言

26



27



28



29



30

まとめ

- ・ JRATによる災害リハビリテーション支援に参加した
- ・ 支援チームの医師として、要介入・要フォロー者に関する管理・指示、環境調整、廃用予防のための集団体操の避難者への指導などを行った
- ・ 珠洲市における最終チームとして、災害リハビリテーションをJRATから地域に引き継ぐ役割を果たした